

「中央アジア+日本」対話・第12回東京対話
「中央アジア・コーカサスとの連結性」
プログラム(案)

日時:令和5年3月15日(水)14時～
場所:東京都内(オンラインで一般公開(定員900名))
主催:グローバル・フォーラム(GFJ)、外務省
言語:日本語、英語、ロシア語(同時通訳)

オープニングセッション(14:00-14:35)

開会 司会進行:市場裕昭 外務省欧州局中央アジア・コーカサス室長
主催者挨拶 吉川ゆうみ 外務大臣政務官
主催者挨拶 渡辺まゆ グローバル・フォーラム執行世話人
基調講演 宇山智彦 北海道大学教授/グローバル・フォーラム有識者メンバー
報告(日本から見たカスピ海ルートの課題と展望)
黒須利彦 経済産業省ロシア・中央アジア・コーカサス室長

パネルディスカッション1(14:50-16:05)**「広域連携に向けた制度面での協調と人材育成」**

モデレーター:市場裕昭 外務省欧州局中央アジア・コーカサス室長
中央アジア・コーカサスの実務家からの発表
物流分野での日本の国際協力
小泉幸弘 国際協力機構社会基盤部次長
税関分野での日本の国際協力
佐々木明日香 財務省関税局第二参事官室(国際協力担当)課長補佐
日本企業の活動事例
意見交換

パネルディスカッション2(16:20-17:10)**「貿易と通関におけるデジタル化」**

モデレーター:市場裕昭 (外務省欧州局中央アジア・コーカサス室長)
中央アジア・コーカサスの実務家からの発表
カスピ海ルートの鉄道輸送のデジタル化の潮流とWCOの取組
世界税関機構
意見交換

閉会 市場裕昭 (外務省欧州局中央アジア・コーカサス室長)

レセプション